

一步踏み込んだアプローチで最良のQOLを提供

宇田川歯科医院 錦糸町歯科インプラントセンター

噛み合わせや生活習慣に着目して、アンチエイジングの知識からトータルにアドバイス。歯科治療から一步踏み込んだアプローチで豊かなライフスタイルを提供する。

Photo Naoaki Yamamoto Text Mayumi Sakamoto



宇田川院長(左)をはじめとした歯科医、歯科衛生士などスタッフは皆、ホスピタリティにあふれている。

理想的な歯科医療を追求していくとこういふ歯科医院になるのだろ。スタイリッシュなレセプションやデザインの美しい最新ユニット、チェアサイドのカウンターには季節の花がさりげなく飾られている。「歯科治療の技術だけではなく、患者様がリラックスして過ごしていただけたらいいな」と語り、おもてなしを大切にしています」と語るのは、宇田川歯科医院の院長・宇田川宏孝氏。今年で開業23年、確かな技術と豊富な経歴で地域に根ざした医療を一貫して行っている。

錦糸町駅から徒歩1分、錦糸公園の緑が間近に眺められる好立地だ。この場所に移転する際、最新の機器やユニットを導入し、施設のリニューアルを図った。「院内をゾーニングして、患者様にとって分かりやすく居心地の良い空間を目指しました。一般治療スペースをCURE ZONE、メンテナンスやホワイトニングのためのCARE ZONE、完全個室のNEXT STAGE ZONEと、3つのゾーンで構成しています。特にこだわったのはNEXT STAGE ZONEだ。インプラント治療を行うオペ室になっているが、木製家具を置き、温かみのある空間にした。医療機器を隠すことのできる家具を採用し、カウンセリングルームとしても居心地の良い空間となる。これらはすべて、治療に対する不安を取り除くための工夫でもある。

インプラント教室(要予約/無料)もホスピタリティのひとつと言え



宇田川歯科医院の院長・宇田川宏孝氏。インプラント治療歴16年、日本口腔インプラント学会の会員、国際インプラント学会認定専門医として名を馳せ、これまでに700本の実績を持つ。また、日本抗加齢医学会の認定専門医としても活躍する。

医院の雰囲気象徴するクリニックのロゴは、院長自らデザイン。医院の目印としても機能する。

完全個室のNEXT STAGE ZONE。厚生労働省認定の「歯科外来診療環境体制」施設基準院でもある。

このレセプションから各ユニット、デジタルレントゲン、口腔内画像が院内LANでつながり、IT化。

メンテナンスやホワイトニングを行うCARE ZONE。3つのゾーンで構成するのは他に例を見ない。

る。院内を見学して、実際にインプラントや被せ物に触れ、費用についての説明を受ける。インプラント治療の良さを多くの方に知っていただきたかったので、教室というスタイルで気軽に来ていただけるのではないかと考えました。また、見えないう矯正装置として注目されているインコグニートの認定医でもある宇田川院長は、最新技術の導入にも積極的だ。各種学会への参加をはじめ、現在は南カリフォルニア大学客員研究員として研鑽を積んでいる。世界に目を向け、アンテナを張り、それを自身の治療に生かしているのだ。

昨年は日本抗加齢医学会の専門医の認定を受け、アンチエイジングの知識により、治療の幅が広がったようだ。噛み合わせの大切さを強調するものもそのひとつだ。「歯や顎の形成に影響を及ぼしてしまう癖を態癖(たいへき)といいます。ストレスからくる食いしばりや頬杖などが肩こりや不眠、ひいては不定愁訴などの症状を引き起こすことが分かってきました。噛み合わせを治すことで得られる健康もあるんです。」

歯科の治療では生活習慣の改善で、ケアできることも多いという。「歯とお口の健康を通して、得ていただける最良のQOL(クオリティ・オブ・ライフ)をご提供していきたいですね。到達点は患者様に楽しく快適な生活を送っていただくこと、そしてそれが続くことなんです」と宇田川院長。一步踏み込んだアプローチで、アンチエイジングなライフスタイルを提供していく。